

## ICTが実践力を深める

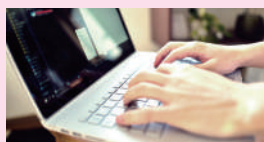
— 2022より短大学生へPC1人1台 —

中部学院大学短期大学部では、急速に進む高度情報化社会において情報通信技術の十分な活用能力を有する人材を育成すること、教育・授業改善を目的として、2022年度入学生より、在学期間中、パソコン（ノート型）を貸与します。

※大学院生・通信教育部生・留学生別科生、新入生は対象ではありません。

### I. パソコンを活用する目的

パソコンは、短大での講義や短大生活で使用するだけでなく、自宅でのレポート作成や自主学習に使用することができます。スマートフォンと比べるとパソコンは、画面が見やすく、長文入力やデータ分析に適しています。パソコンは卒業時に贈呈され引き続き使用でき、新社会人となってもすぐにそのスキルを活かせます。



映像やアニメーション、音声を利用した表現豊かな教材をパソコンから確認できます。また、授業やフィールドワークの様子を学生の皆さん自身で撮影し、振り返り教材として活用できます。



卒業後に活かせる事務処理能力を身につけます。就職先で必要となる資料作成やデータ管理、情報発信、特に写真や動画を用いた伝達方法を学びます。これらは園児・保護者、利用者の皆さまに楽しく、分かりやすく伝えるためのスキルとして役立ちます。



情報の収集に加えて、“気づき”を整理し、クラスメイトと共有できる「ノート」としてパソコンを活用します。自由で活発に意見交換できるアクティブラーニング授業では、主体的能力が養われます。その他、語学や国家試験、デザイン等、あなたの関心に合わせ、様々な学びに使うことができます。



「授業に関する調査」等、パソコンを通して行うことで、担当教員が学生の皆さんの授業理解度や講義到達度を都度、確認します。その上で、必要に応じて、授業の進行方法等、教育改善が行われ、学生の皆さんの実践力が身につきます。

## Ⅱ. ノートパソコン【2022年度入学生用】

本学(中部学院大学短期大学部)では、2022年度より入学生全員に、最新のノートパソコンを1人1台貸与し、卒業まで活用していきます。2022年度入学生のパソコンは、**Microsoft製Surface go2**です。



### 【本機種選定の理由】

本機種はノートパソコンとタブレットの2種類の使い方ができます。

また、本体重量が800g弱(キーボードを含む)と軽量で、バッテリー駆動時間は10時間程度です。さらに専用ペンで手書入力が可能になります。

本学では、携帯性、資料の閲覧のしやすさ、手書機能を評価して本機種を選定しました。



※マウス・Surface ペン等、周辺機器(消耗品)は、必要に応じて学生の皆さんにご用意頂きます。

### ICTスキル・リテラシーの修得



### 短大学生パソコン1人1台(2022年度入学生より)

#### 中部学院ポータル

大学からの講義連絡を確認したり、担当教員に対して課題を提出できます。また、各自の成績・出席状況等の他、学内行事や休講情報、奨学金募集等の確認が行えます。

#### Office 365

Word、Excelといったアプリケーションソフトを無料で使用できます。また、Onedriveを使用すれば、レポート等のデータをクラウド上に保存できるなど多彩な機能を利用できます。なお、個人所有のパソコン等にもWord、Excel等を無料でインストールできます。

#### 専用メールアドレス

学修や就職活動、課外活動に使用するため専用メールアドレスを貸与します。専用メールアドレスの活用は、学修や課外活動に向けて欠かせないツールとなります。

#### 学内Wi-Fi環境

学生の皆さんの利用スペースにはキャンパス内Wi-Fiを整備し、インターネットへの無料接続が可能です。 ※スマートフォンも接続できます。

#### サポート

ICTサポートデスクが、学生の皆さんのパソコン活用をサポートします。また、定期的に「ICTランチタイムセミナー」を開催し、パソコン操作の基本(振り返り)や知って得する便利な機能を修得できます。

#### その他

学内に配置したプリントシステムからレポート等を印刷できます。また、貸与するパソコンには、専用保険が付加されており、故障・破損等の場合は、無料で修理・取り替えが可能です。 ※保険適用は、保険会社及び学内規程が定める一定の条件を満たす場合に限りです。

## 【パソコン貸与に関するお問い合わせ】

2022年度入学予定者の皆さんでパソコン貸与についてご不明な点がある場合は、下記メールまでお問い合わせください。

中部学院大学短期大学部 事務局「PC貸与」担当 mail: [ict@chubu-gu.ac.jp](mailto:ict@chubu-gu.ac.jp)